

認定NPO法人アンケート

法人名：特定非営利活動法人 自立支援ホーム とことこの家

担当者名：伊藤 健一

Q1 現在活動している主な事業について教えてください。

- ・障害福祉サービス事業(居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護・共同生活援助・短期入所)
- ・障害児・者生活サポート事業
- ・障害児・者移動支援事業

※活動がわかる画像(県のホームページで公開可能なもの)がございましたらデータで提供をお願いします。

Q2 認定を取得しようと思った理由を教えてください。

- ・当時の担当税理士より税制優遇を受けられるという話を伺ったため。

Q3 認定取得までに苦労された点をお聞かせください。

- ・苦労した点は、寄付者(賛助会員を含む)を各年度平均 100 名確保しなければならない点。
- ・必要書類が膨大な点。

Q4 認定を取得されたことで法人の運営や活動に何か変化はありましたか。

- ・あまり変化を感じられていない。

Q5 多くの方からご支援をいただくためにどんな工夫をされていますか。

- ・法人が契約している会計事務所内の掲示板に寄付(賛助会員)募集掲示のご協力を頂いている。
- ・会議等での声かけやホームページ・ニュースレター掲載を行っている(が、期待するほどには集まらないのが実情。)

Q6 これから認定等の取得を目指す NPO 法人へのアドバイスをお願いします。

・5年平均とはいうものの、認定を受けるために毎年度 100 名の寄付者(賛助会員を含む)を集める労力、新規認定・認定更新とも必要書類を作成する事務量が相当なものになります。

・また税制優遇のようなメリットを当法人では感じられないのが現状です。

・一方で、「認定」を継続してほしいと考えている方が当法人の会員の中にはおり、また件数的にはごくわずかではありますが、「認定 NPO」ということで頂けた寄付金も過去にはありましたので、意義はあると考えています。

・100 名以上の寄附者がいなくても、収入金額に対して寄附金の割合が高い(20%以上あれば認定要件を満たす)法人であれば、認定を受ける意義はあるかもしれません。

・ある特定の地域で活動を行っている法人よりも、全国規模もしくは海外等世界中で活動する法人の方が、認定を受けることで支援を多く受けられるようになるのではないかと思います。

・メリット・デメリットをよくご検討された上で決定された方がよろしいでしょう。

(記入日:令和6年 1月18日)